

地方創生

～地方創生プロジェクト推進助成金成果発表会～

ポスターセッション

発表① ママカフェHuuwa

発表者 ママカフェ 砂川

「ママカフェ」誕生から自立まで子どもと親に寄り添う場づくり

発表② 池野ビアステーション

発表者 養鉄池野ゲートパーク実行委員会 高橋

街を明るくするプロジェクト

発表③ わかも会×伊吹堂コラボ「ときめぐり」開発

発表者 わかも会 松岡・磯野

IT・SNSを活用した農産物等の情報発信、販売／町民と役場をつなぐ「まちづくり工房」プロジェクト

発表④ I love Ikeda 事業 ～ロゴマーク作成等～

発表者 Overflow 藤原

「I love Ikeda」町民による池田の魅力発信

発表⑤ 子どものあそび場

発表者 NPO法人まちづくりネットワーク 川本

子どもの居場所づくり事業

発表⑥ 講座「養老鉄道のヒミツ」「養老鉄道を語る会」

発表者 養老鉄道応援団 高橋

達人から学べ！町の達人と町民の交流の場づくり

資料配布のみ

資料⑦ ハッピーアフリカンキャンプ '18

池田アフリカン化計画実行委員会

達人から学べ！町の達人と町民の交流の場づくり

資料⑧ 池田のお庭マルシェ

池田のお庭マルシェ実行委員会

「どうせ住むなら池田町」移住者向けの情報発信や移住コンシェルジュの募集

ママカフェHuwa 平成30年度 実績報告

私たちは、子育て中のママが、気軽に集まることができる場所、気軽におしゃべりできる場所を作りたいという思いから、月に1回イベントを企画、運営しています。日々子育てに奮闘しているママ、こどもが楽しめる場所へ行くことが多くなり自分の楽しみは後回しになりがち。そんなママが笑顔になれる企画、子供がいても参加できる企画をしています。

ママが笑顔になれば、家族も笑顔になれる。家族の幸せが町の幸せ度向上にもつながるのでは？ママカフェHuwaは子育て中のママが笑顔になれるお手伝いをしています。

ママカフェの特徴：①継続して参加できること。支援センターや保健センターでのイベントは子供の年齢により参加できるものが限られており、子供が大きくなると参加できなくなるものがあります。ママカフェのイベントは、ママが興味のあるイベントなら、子供が一緒でも、ママだけ(子供が入園、入学していても)でも参加することができます。幅広い世代のママに利用していただけます。

○H30年度 イベント内容

- 4月 お休み
- 5月 石窯ピザパーティー
- 6月 マヤ歴プチ子育て講座
- 7月 石窯バーベキューパーティー
- 8月 学校では教えてくれない～子宮のお話し会
- 9月 ストレッチでセルフメンテナンス
- 10月 アイシングクッキーワークショップ
- 11月 ヒンメリワークショップ
- 12月 ミニブッシュドノエルを作ろう



参加者 延べ120名

8月に開催した「学校では教えてくれない～子宮のお話し会」は、より多くの方に聞いてもらいたいという思いから助成金を活用しました。女の子が自分の身体を大切にすること、正しい知識を知ること学ぶことができました。また、命の誕生の奇跡を知ること、自分自身の命、他人の命を尊ぶこともできるようになると感じました。

ママカフェHuwaの課題として、周知度が低いことがありました。知られていないことで、必要な人に活動の内容が届いておらず参加に繋がっていません。現在は、フェイスブックやラインでイベントの案内をしています。気軽にとってもらえるリーフレットの作成、名刺を助成金を利用し作成しました。

今後は、リーフレットを子育て中のママが手に取りやすい町内の施設に設置し、活動を広めていきたいと考えています。

来年度からも、池田町に住むママの癒しの場、出会いの場となるように月に1回のイベント開催を継続していきます。



活動の様子



さふら田町発原
ママカフェの暮らしサポート
ママカフェ (不定期開催)
イベント企画運営
情報発信

フワフワ 運営スタッフ
砂川 あや
Aya Sunagawa

huuwa
mamacafehuuwa
@bct5771e

池野ビアステーション 2018

～ 街を明るくするプロジェクト ～

開催
レポート

乗って飲んで 笑って残そう養老鉄道

平成 30 年 9 月 1 日 (土) 池野ビアステーション 2019 が開催されました。



このイベントは養老鉄道の利用促進と、地域産業の活性化を目的とし、年々拡大して今年で2回目。「池田町にはどんな飲食店があるのか」「どんな作家が活動しているのか」など、地域の皆さまがイベントを楽しみながら、西濃地域のコミュニケーションが広がるきっかけづくりの場になっています。

出店者には、池田町で飲食店を経営している方を始め、飲食店の経営は行っていないが野菜を栽培している専業農家、地域のお祭りが開催される時のみ出店するサラリーマン、住宅リフォーム業者、趣味を通じて知り合ったグループなど自由な出店形態となりました。



チラシの配布枚数

池田町、揖斐川町、神戸町新聞折り込み24,000部

- ◇池田北内田新聞店 2,600部
- ◇(有)若園新聞店 5,100部
- ◇(株)いびニュースサービス 4,000部
- ◇池田南川瀬新聞店 2,400部
- ◇池田八幡専売店 4,200部
- ◇はやし(有)新聞店 5,700部

主催者：養鉄池野ゲートパーク実行委員会 会長 筒浦広幸



来場者数: 約800人

内養老鉄道利用者:135名

出店店舗数: 10店舗

新聞折込み部数:
24,000部

出店者

- ① 恵美飯店 餃子、どて
- ② OTONOTANI 地獄うどん
- ③ サンローヤル アイス、ケーキ
- ④ 棚橋牧場 THE MILK SHOP 牛乳、デザート
- ⑤ ちひろ からあげ、串カツ、ポテト
- ⑥ 和みや かき氷、焼き鳥
- ⑦ Natural Colors 生ビール
- ⑧ プロタイムズ フランクフルト
- ⑨ ヤンケバブ ケバブ
- ⑩ JA いび川 美濃いび茶、フルーツ



《池野ビーステーション 協賛企業》

有限会社アンドー不動産 有限会社飯沼工業 いたう設計 今西土地開発株式会社
 株式会社岡田鉄工 桑原実業開発株式会社 株式会社クワバラボティワークス
 株式会社小林組 Sun Royale (サンローヤル) 四季旬彩ニュー池田
 農事組合法人白鳥ファーム 須原自動車株式会社 セーフティーサービス株式会社
 高橋登記測量事務所 株式会社中部サクシード 土川商店 有限会社中野屋
 有限会社西川治具工業 プロタイムズ揖斐大垣店 株式会社マツオカ マツダ装飾
 株式会社森住建 みみはなのどオレンジクリニック 養老鉄道株式会社 地元三区



私たち「わかも会」は、池田町の若者を中心とするメンバーで、まちづくりや地域活性化に関する活動を行う団体です。

これまでは池田町のまちづくりの拠点として養老鉄道池野駅の駅舎を改装して整備された「まちづくり工房霞溪舎」でのイベントの企画運営に携わる活動を主に行ってきました。

冬のイルミネーションイベント「#池田に行って恋」や霞溪舎の周年イベント「おかげさま祭」などです。

今年度はさらに、池田町の地方創生プロジェクト推進助成金をいただいて、新プロジェクトを行っています。これは「池田町の魅力を発信できる和菓子を作りたい」と和菓子処「伊吹堂」さんにご提案したところ、伊吹堂さんからも若者目線からの意見がもらえないかと希望があり、コラボが実現しました。

できあがったお菓子は『ときめぐり』という羊羹です。和菓子を食べる池田の時を巡るような池田の5つの魅力を再現しました。なんども商品のコンセプトについて話し合ったり、包装のデザインなどの試行錯誤を繰り返して出来上がったお菓子です。ぜひたくさんの方に召し上がっていただきたいです。

このような活動を通して得た経験や多くの方々から学んだことはかけがえのないものです。これからこんなことをやってみたい、池田町にこんなものがあつたらいいなというアイデアがどんどん広がっていきます。こんな「わかも会」で一緒に活動したいと思った方はぜひご連絡ください、お待ちしております。

今年度参加イベント

- ・2018/10/27（土） 日本ビジネス専門学校 日専祭
- ・2018/12/1（土） イルミネーション点灯式
- ・2019/3/2（土） 元気ハツラツ市
- ・2019/3/9（土） 池田町産業課金山駅イベント
- ・2019/3/24（日） おかげさま祭



I LOVE IKEDA ~活動報告~

I LOVE IKEDA プロジェクトをご存知ですか？

池田町地方創生「池女会」が発足され参加された方の意見で誕生したのが I LOVE IKEDA プロジェクトです。

【町民による池田町の魅力発信】の活動として【いけ本】の作成がスタートしました。



来年度で I LOVE IKEDA プロジェクトが終了するとの事で

今後も魅力を発信したいとの思いから【I LOVE IKEDA】を発足しました。



現在 I LOVE IKEDA staffとして

代表 藤原 麻里子・高根 美知世・竹中 ちさきの 3 名で活動スタートしました。

【I LOVE IKEDA 活動内容】

- ロゴシールの販売
- オリジナルグッズの開発・販売
- いけ紙の発行
- 池田町の情報発信及び活動報告
- I LOVE IKEDA お茶会の開催(予定)

【活動報告①ロゴシール】

I LOVE IKEDA のロゴマークを

池田町在住・在勤・在学の方に募集をしました。

池田町在住のデザイナー瀬川さんが無償で全面協力して頂ける事になり心強い協力のもとチラシを 5,000 部印刷し池田町内で配布・設置して頂きました。

1 月 31 日

岡崎町長・I LOVE IKEDA プロジェクト担当者役場職員にご協力頂き審査会を行いました。

そこで、応募頂いた 5 点の作品の中から

池田高校 3 年生の汲田 優菜さんの作品に決定させて頂きました。

池田町地方創生プロジェクト
I LOVE IKEDA
存続に向けて新たに始動します

ロゴマーク募集

募集期間
2018年11月1日(木)
~12月25日(火)

主催
I LOVE IKEDA
代表 藤原 麻里子
〒090-4119-8883
<http://loveikedama.blog.jp/>

後援
池田町 池田町役場
池田町地方創生推進委員会

応募資格 池田町在住・在勤・在学の方

賞品 原稿料 5千円 (税込返金)

応募方法
・1人1作
・縦横・E-mailのいずれかで応募
・郵送・住所・連絡先(住所・電話番号)・内封紙に宛先を明記
・手書き・A4サイズ(210×297mm)の縦書き
・デジタルデータ・A4サイズで読み取りやすいもの(解像度 300dpi・縦横 1500ピクセル以上)
JPG、PNG、PDFのいずれかの形式・容量 5MB以下で送信してください
※応募された作品は必ずしも採用されるものではありません。

留意事項
・制作費は無し。制作費が少額な作品は制作費が掛かる場合があります。応募後、制作費が掛かる作品は制作費を別途お支払いください。
・I LOVE IKEDA 上のロゴデザインである
・I LOVE IKEDA に関する著作権はすべて I LOVE IKEDA 事務局に帰属します。応募後、制作費が掛かる作品は制作費を別途お支払いください。
・制作費の発生は、応募後、制作費が掛かる作品は制作費を別途お支払いください。
・制作費の発生は、応募後、制作費が掛かる作品は制作費を別途お支払いください。

応募先
池田町 池田町役場 産業課・観光課 〒903-2492 岐阜県池田町池田六之町 1-608 番地の1
loveikedama@gmail.com



作品意図

お母さん方が中心となるということで、温かい感じの絵にできたらいいなと思い全体的に柔らかい色を使いました。ハートはお母さん方を象徴しています。iの部分には、発信していくというイメージに合わせてデザインしました。池田の特徴であるお茶葉もデザインに加えていただきました。

現在、

- 汲田さんの作品意図
- 岡崎町長のアドバイス
- Staffの想いを元に

デザイナーの瀬川さんに修正して頂いています。



【活動報告②オリジナルグッズ】

池田町の特産品は何か？いろいろ考えたりアドバイス頂き、現在、岐阜県内にある柿渋を作っている業者が池田町内にある2軒のみと教えて頂きました。

歴史がある柿渋を作っている業者が県内で池田町内のみなのを生かさないのはもったいない!!
そして、日本一古い歴史を持つ抱っこ紐メーカーのラッキー工業さん。

ママ達にとっては必須アイテムを作ってる企業に協力してもらわないのはもったいない!!

そんな想いから…

第一段のオリジナルグッズ開発・販売はラッキー工業さんの商品に
ママ達の手で柿渋染めをした商品に決まりました。



柿渋染めを学ぶのにあたって、
伊自良にある柿 ZANMAI さんが使用している伊自良大柿の
柿渋は池田町の柿渋業者さんが作っているとの事で
講師を依頼し工程を教えて頂きました。

LUCKY ×



現在、試作品を作った際に課題点が見つかり製品化には至っていません。

当初の予定では池田町のママ達と共に作る予定でしたが…

柿渋染の風合いを出すのには染めるのに日数が必要になり

日影干しも必要なのが分かり短日での商品化は無理と分かり、環境を整える準備中です。



【活動報告③情報発信】

livedoor Blog  <http://iloveikedamama.ne.jp>

•Twitter

•Instagram

•Facebook



@iloveikedamama

にて池田町の情報・活動報告を不定期で発信をしていますのでよろしければご覧ください。

【I LOVE IKEDA mama・support について】

I LOVE IKEDA mama

I LOVE IKEDA staffとは別に不定期で
協力してくれる池田町在住のママを募集しています。

LINE@

→@dqv0139a



I LOVE IKEDA support

I LOVE IKEDA の活動に協力してくれる方
商品開発等で専門的サポートして頂ける方、
資金面でサポートして頂ける方など
幅広く募集しています。

LINE@

→@ut111111



LINE をされていない方は

← メールにてご連絡お願い致します

iloveikedamama@gmail.com

地方創生プロジェクト推進助成金成果発表会

NPO法人まちづくりネットワーク池田

子どもの居場所事業（子供の遊び場）

この事業の目的

おもちゃやアート作りを通じて、子供たちの創造力や思考力を育て、その能力を発揮することで、楽しさと子供の自信に繋がるためにも持続的な支援事業を行う。

事業内容

毎週土曜日（10時～12時）遊び場（たまり場）を提供しおもちゃやアート作りをして作製したおもちゃで遊ぶ。

事業実施

10/6	ビーズストラップ	11/17	割り箸ピストル	1/12	凧作りと凧揚げ
10/13	砂絵	11/24	ハムスター作り	1/19	割り箸ピストル
10/20	ハロウィンの紙カポチャ	12/1	紙のサンタクロース	2/2	フーフーボール
10/27	こんにちは人形	12/15	リース作り	2/9	スーパーボール
11/10	プラパンストラップ	12/22	風車作り	2/16	ストローストラップ

1月26日 雪が降りだした為か子供が集まらなかった日もありましたが
毎週土曜日4人から9人（目標の約50%）ほど来て 手作りおもちゃを楽しんでいます。

フードバンクの協力を得てお菓子を頂きながらお喋りすることもあり

リピーターの子供が多いです。喜んで来てくれるので もう少し子ども達が
集まるよう考えたい。

子どもの居場所事業

10月6日(ビーズストラップ教室)



10月20日(ハロウィンかぼちや教室)



11月24日(ハムスター教室)



12月15日(クリスマスリース教室)



12月22日(風車作り教室)



1月12日(たこ作り教室)



1月19日(割り箸ピストル教室)



2月2日(フーフーボール教室)



池田町地方創生プロジェクト推進助成金事業

『「達人に学べ!」町民の交流の場作り』活動報告

事業申請者 高橋 弘子

池田町地方創生プロジェクト『達人に学べ』の2年目に、息子の高橋秀歩が講師となり、霞溪舎にて講座を開催させていただきました。小学校3年生から“養老鉄道を残したい”という想いで取り組んできた研究内容を町民の皆さんにお伝えする機会を与えていただいたことがきっかけとなり、この想いをもっと多くの方々にお伝えして、住民で養老鉄道を支えようという気運を高めたいと考え、助成金事業に申請し、29年度、30年度の2年間で活動を進めることになりました。

◇29年度活動

回	日程・時間	活動名（講座名）	活動場所・参加人数等
1	3月31日（日）	講座『養老鉄道のヒミツ!!』	神戸町『ひよしの里』 参加者：約50人

29年度は、神戸町『養老鉄道の未来を守り育てる会』の方々にご協力をいただいて講座を開催することができました。大垣ケーブルTV様にも声をかけて下さっており、講座の様子や参加者へのインタビューの様子が放送されました。そのおかげで、より多くの方々に養老鉄道の魅力や関心をもってほしいという想いを伝えることができたのではないかと思います。

◇30年度活動

回	日程	活動	活動場所・参加人数等
1	7月25日（水）	講座『乗って残そう養老鉄道』	サンビレッジ国際専門学校 研修室 参加者：約15人 （『いきいき講座』受講生の方々）
2	10月27日（土）	講座『養老鉄道への50の提案』	養基小学校 教室 参加者：3年生43人と先生方
3	12月16日（土）	『養老鉄道を語る会』の開催	霞溪舎 参加者：11人
4	12月22日（土）	講座『乗って残そう養老鉄道』	霞溪舎 参加者：約15人 （『いきいき講座』『認知症予防講座』受講生の方々・一般の方々）
5	2月11日（月）	講座『養老鉄道のヒミツ!!』	脛永公民館 参加者：約30人 （主に脛永地区にお住まいの方々）

30年度の第1回、第3回の講座は、高齢者の方々に向けての講座でした。この講座では、マイレールチケットや運転免許返納者への特典についても紹介し、養老鉄道の利用を呼び掛けました。

第2回の養基小学校での講座は、3年生の総合的な学習の中で開催させていただくことができました。第4回の『養老鉄道を語る会』では、池田町と揖斐川町、大垣市から養老鉄道に思いを寄せてみえる方々に参加して頂き、住民として養老鉄道をどのように支えていくかというワークショップを行いました。

2年間の活動を通して、まちづくりの活動は町民に広く受け入れられ、しかも持続可能な取り組みであることが大切だということを、改めて強く感じることができました。



Happy African Camp18 当日の様子

10月7日(初日)

華やかなベリーダンスショーの様子
(初日)11:30

快晴のスタート!



池田アフリカン化計画実行委員会
東公民館西アフリカ太鼓教室
地元池田町出身グループ『マンデンカン』

によるオープニングステージ

※SPゲストに西アフリカギニアの達人
ランボー・バンゲーラ氏が急遽参加!



会場のキャンプの様子

とても賑わっていました。名古屋、一宮
滋賀、京都、三重、岐阜など
各地のキャンパーさんが楽しみに!



西アフリカ伝統文化体験
泥染めワークショップの様子

沢山の子供から大人までが
初めて体験する泥で染め
自分の好きな絵を書くのに夢中!



中日新聞の記者の方も興味津々に
みていました。当日取材にきて頂きました



岐阜出身のシンガー木歌さん(もっか)

岐阜で稲作フェスやお神社マルシェ等の主催
全国でライブをし企業スポンサーなどもつき
実力派アーティスト！

実はアフリカンが好きで親指ピアノ(カリンバ)
とゆう西アフリカの楽器を演奏しながら歌いま



初日トリのバチコンドー(from大阪)

大阪神戸で活躍しているアーティスト
盛り上げ力がすごい！
会場全体が輪となり皆が踊り子供もわくわく
大人も、お年寄りも踊っていました



初日夕暮れ時の大津谷キャンプ場の様子

初日夜

アフリカの絆トークショー

プロジェクターを使って
アフリカの絆についてトーク

講師は

名古屋大学院博士後期課程単位取得
アフリカ地域、文化人類学専攻の
菅野 淑博士



真面目なトークからアフリカのお話を
パワーポイントにて紹介

何より子供がキラキラしながら聞きいり
質問したり、多数の大人も真剣に聞いて
アフリカの事が少し身近になったと思います

機材の不具合で18:00開催予定でしたが
19:30からの開催に
ちょうど夕ご飯食べた後くらいで
大勢の方が夜の催しに喜んでいました



音楽だけではなくこうゆうのもあるのは凄く楽しい。と
お声かけ頂きました(地元の7歳の息子を持つ母)
その他大勢の方に、夜のキャンプ場での催しは喜ばれてました。

その他会場の出店の様子

名古屋より

本場西アフリカ直輸入の楽器を扱う
アフリカンパーカッションさん
中々買えない、売っていない本物の楽器に
来場した方々は興味深々でなんと
一台、地元のかたが購入していかれました



こちら名古屋でネット販売をおこなっている
リズム屋さん

アフリカにも渡航し本場のアイテムを
自作で作り、太鼓のメンテナンスも
してくれるお店。

アフリカの儀式の様子を絵にかき
写真をとれちゃう看板までありました



二日目の様子

アフリカの太鼓体験ワークショップの

朝より、地元の方々が多数いらっし
初めてみる楽器に興味津々
小さなお子様連れの方も一緒に
太鼓たたきました！

講師は奈良大介先生！流石日本屈指
太鼓の達人！みんなが叩けてまし



二日目もベリーダンスショー

出演者の方は
知多、刈谷、名古屋、岐阜
と、各地から駆けつけて頂きました

偶然遊びにきてくれた
名古屋のアボリジニ伝統楽器奏者の
方もいて急きょステージ披露して頂きました



二日目のトリ

日本屈指のアフリカンアーティスト
奈良大介さん

ファンもかなり多く、県内外各地より一目みよう
と多数のご来場があり大盛り上がり



最後は輪になりみんなでアフリカのリズムで
アフリカの踊りを踊りました！！

初めての方も皆が超笑顔で正に
ハッピーアフリカン！！

その他

アフリカでは日常的に路上ライブやコンサートがあります

そして全て投げ銭スタイル
いい音楽を聞かせることができれば
お金や物資を与える

アーティストは心に響かせる演奏をする
毎回すごい！

今回アフリカンキャンプでも投げ銭式の
気持ちを募ってみました。



アフリカの方もちらほら遊びに！

一宮から来てくれてとても楽しみにしていたそ
終始笑顔で会場を回っていました



ベリーダンサーの方々の集合写真



初日に演奏してもらったバンドさん
(普段はライブ活動も地元一宮で行っている)



写真のみ



最後の様子！これが実現できたことがすごくよかったです！
人と人が一体となり笑顔で居られること！



池田のお庭マルシェ

vol.1 平成30年5月27日

出店数 29店舗 来場者数 1,500名

vol.2 平成30年8月25日

出店数 33店舗 来場者数 500名



移住者ママとご近所の方との地域の交流の場として、
町内のママの活躍の場として、
町外（大垣、養老、愛知県など）からの出店も・・・

